

会議名 ニセコ町学校運営協議会推進委員会（平成28年度・第6回）

開催日 平成29年3月10日	会議時間	開会 午後3時00分 閉会 午後4時30分
会議場所 ニセコ町役場 第2庁舎 大会議室	記録者 ニセコ中学校事務職員 三坂 宜巳	
出席委員：渡邊委員、矢島委員、松本委員、井上委員、山野委員、酒井委員、飯田委員、 小中委員、田邊委員、日野浦委員、菊地委員、高瀬委員、 教委：淵野係長、笹森主事、三坂 欠席：萬谷委員、橋元委員、本田委員、加藤委員		

会議内容

<p>1. 開会</p> <p>2. 教育長あいさつ 推進委員会としては最後の会議になる。4月からスタートするにあたりいろいろと準備不足な部 分もあるが、まず体制を整え、議論をしながら膨らませ、育てていくCSにしていきたい。</p> <p>3. 委員長あいさつ 推進委員会の中で地域の方々と互いの立場を超えて話し合う機会を持ち、コミュニケーション を築くことができた。こうした関係づくりをこれからも大切にしていきたい。</p> <p>4. 議事 (1) ニセコスタイルのコミュニティ・スクール ○ニセコ町学校運営協議会の設置規則の制定 ・3月1日の教育委員会議で決定した規則の内容を説明 ・国のコミュニティ・スクール制度改正（地教行法改正）の動向説明 ○調査研究のまとめ（案） ・まとめ（案）の内容を事務局から説明 ・CSはニセコ町の教育にとって大切な制度となるので、まとめを広く周知して欲しい →まとめはHPで公表するほか、平成29年度にリーフレットを作成し、周知する （行政推進員文書を活用した全世帯配布の際に、町内会未加入の世帯にも行き渡るよう にして欲しいとの意見あり） (2) 熟議 「地域が潤う！明るくなる！学校支援の活動」をテーマとして、今後、学校が求める支援 活動や地域住民ができる学校支援活動について意見交換を行った。 各グループの内容は下記のとおり。</p>

<Aグループ>

- ・ 学習支援
体育家庭科技術などのサポート支援
ゲストティーチャーを招いた授業
- ・ 放課後支援
部活の外部コーチ
放課後の学習支援
- ・ 地域人材を活かした活動支援
地域の方の得意分野を活かして、総合学習の時間に一緒に体験
大人も学ぶ生涯学習へ
- ・ ニセコ学
ニセコの文化産業を紹介
ニセコに誇りを持てる地域に子どもになってもらいた。

<Bグループ>

- ・ 普段の授業に地域の方が入り一緒に楽しめる体験型の授業
- ・ ニセコの特徴を活かして雪遊び（幼児センター～高校）
- ・ 職場体験は時間が限られている。忙しいときの大変な場面こそ体験して欲しい。外国の方が来たときの接客や会話（文法は関係なく単語だけでも通じる）を体験して欲しい。
- ・ どうしてニセコに住んでいるのかということ、自分達が楽しんでいることを大人が伝えることが大事。便利屋さんでもいい、ぶれない組織になること。

<Cグループ>

- ・ 英語やスキー水泳のサポート
- ・ バス待ちの生徒を地域で見守る
- ・ 図書ボランティア、学校の図書室を地域に開放
- ・ 具体的にどの様な活動を行えるのか、必要としているのかを双方で確認する事が大切。
- ・ 学校の生活と学校外の生活を地域の皆さんと一緒に考える場が必要
- ・ 学校でもなく家庭でもない問題をどこで責任を持つのが話題となる
- ・ もっと学校を開いていく必要がある

意見交換

- ・ 地域が参加できる参観日を各学校で行う。
- ・ 学校の図書室にボランティアが参加し学校の図書を地域の方も借りにいける。
- ・ 学校を地域に開放。
- ・ 実際に中学校にはあそぶっくの方が来校し図書の管理を行っている。
- ・ 自分達も子どもと一緒に学び、ニセコに誇りが持てる学校支援を。
- ・ 広報活動をさらに充実させる必要がある。

5. 閉会